

令和7年度 武生東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
- ② 成果と課題を踏まえた令和8年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

評価者

PTA役員(会長および副会長2名)

重点目標1:教育課程・学習支援

①

- ・適切であります。目標を達成していると思います。
- ・適切である。
- ・適切:生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する取組が進められている。

②

- ・改善策・向上策は適切であります。アンケート結果では、特に「主体的・対話的で深い学び」は生徒・教員双方で高評価であったと感じました。アンケート結果では、ICT活用に学年差がある、振り返りの定着が課題であると感じました。(例:振り返りシートの活用が生徒側で定着していない、数学・理科で「考える時間」「対話的活動」が弱い、など) また、社会で生きていくために必要な学びも行われていると感じました。
- ・適切である。
- ・適切:教師間の情報交換の時間を確保する工夫ができています。

重点目標2:進路支援

①

- ・適切であります。目標に対し高い達成度であると思います。
- ・適切である。
- ・適切:学年ごとの進路計画達成度が具体的な数値で示されている。

②

- ・改善策・向上策は適切であります。アンケート結果では、生徒・保護者・教職員の三者が進路指導を高く評価されています。個人的には学習習慣の自立が課題ではないかと感じました。(例:学年が上がるほどICT学習(スタサプ)が低下、自己理解の深まりに個人差が大きい、など)
- ・適切である。
- ・適切

重点目標3:生徒支援

①

- ・適切であります。目標に対し高い達成度であると思います。
- ・適切である。
- ・適切:生徒数、教員数の減少が課題として分析されている。

②

- ・改善策・向上策は適切であります。アンケート結果では、防災教育と学校生活の充実は、生徒・教職員・保護者が一致して高評価であると感じました。校則改善の主体性は1年生が高く、2・3年はやや低下しています。今後とも保護者との積極的な情報交換に期待いたします。
- ・適切である。
- ・適切

令和7年度 武生東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切ですか。
- ② 成果と課題を踏まえた令和8年度に向けた改善策・向上策は適切ですか。

評価者

PTA役員(会長および副会長2名)

重点目標4: グローカル、サイエンス、SDGs

①

- ・適切であります。目標を達成していると思います。
- ・適切である。
- ・適切: 異文化交流や理数への興味を促進する取り組みが行われた。

②

- ・改善策・向上策は適切であります。アンケート結果では、探究活動は高い成果が出ていると感じました。また、国際交流も満足度が高くなっております。個人的には、3年生のSDGs意識は低下傾向があり、継続性が課題であると感じました。
- ・適切である。
- ・適切

重点目標5: 外部との連携

①

- ・適切であります。目標を達成していると思います。
- ・適切である。
- ・適切: オープンスクールや学校説明会で教育内容を理解してもらう成果があった。

②

- ・改善策・向上策は適切であります。アンケート結果では、広報活動は大きく改善し、達成度は非常に高いと感じました。個人的には、大学との連携については、1・2年で高い成果となっておりますが、3年生ではやや低下していると感じました。また、保護者に対するホームページの案内をPTAから行うといいのかなと感じました。
- ・適切である。
- ・適切

全体総括(全体を通してのご意見等)

- ・武生東高校は「子どもが安心して成長できる学校」であることが、保護者アンケートからも明確に読み取れました。「学校生活の充実」や「進路指導の手厚さ」など、保護者から非常に高く評価されており、学校への信頼感は強いものがあります。一方で、「振り返りの定着」や「保護者との双方向コミュニケーション」といった改善点も見えており、ここを強化することで、学校の教育力はさらに高まると思います。
- ・本校に入学してよかったという意見がどの学年でも多く見られ、とても誇りに思います。ホームページの閲覧数を増やす点については私たちPTAにも出来ることがあると思いますので、引き続き広報していこうと思います。